

3. 名所旧跡案内 (Wikipedia、他より)

西念寺

1207 年、南都北嶺の既存仏教教団からの圧力もあって、後鳥羽上皇により、専修念仏の停止が申し渡され、法然と親鸞ら中心の門弟が流罪や死罪に処されました。親鸞は最初、越後国に配流されましたが、1214 年稲田九郎頼重の招きで稲田に草庵を結び、62～63 歳の頃帰京するまで、約 20 年間、関東地方で布教を行いました。また、この稲田の地で『教行信証』を撰述しました。妻の恵信尼は京へは同行せず、この地で没しています。西念寺は、浄土真宗立教開宗の聖地として、真宗門徒の崇敬を集めています。



稲田石切山脈

稲田石は約6千万年前に誕生した黒雲母花崗岩です。正式には稲田白御影石（いなだしろみかげいし）と呼ばれます。その分布は東西約 20 km、南北約 10km の通称石切山脈と呼ばれる広大な地域で、地下にはどれだけの深さまであるか、未だ解明されていません。石材として利用されるようになったのは江戸時代からで、本格的に採掘され始めたは 1889 年頃です。 当時から現在まで、最新式の採掘・加工技術を取り入れ、採掘量、業者数共、稲田は日本最大級の御影石産地です。稲田石は、日本を代表する多くの歴史的建造物から、現在新築されている建造物、石碑、墓石に至るまで、多岐にわたって使用されています。石英・長石・雲母の三種の鉱物が強固に結晶してできた白色系の花崗岩で、その構成比は、石英 34%、長石 62%、雲母 4%です。各鉱物の色調は石英がやや透明感のある薄い灰色で、長石が白色、雲母は黒色です。60%強を占める白色の長石が、稲田石の色調を決定づけています。笠間焼の粘土も稲田石の風化した成分を含んでいます。



笠間焼

1770 年代、箱田村の名主久野半右衛門道延が、近江信楽の陶工長右衛門を招聘して窯を築き陶器を焼いたのが、その起こりとされています。甕・摺り鉢などの日用雑器が作られました。関東ローム層から出土する笠間粘土や花崗岩の風化によってできた鉄分を多く含む蛙目（がいろめ）粘土と呼ばれる陶土によって作られます。笠間粘土は粘りが強く粒子が細かいため焼き上がりが丈夫であり、日常雑器としては理想的な土です。若い陶芸家たちが集まり、現在では安価で実用的な水瓶や徳利から芸術的で斬新なデザインのオブジェまで多種多様な焼き物が焼かれています。 <http://www.kasamayaki.or.jp/>



笠間城

鎌倉時代、この地域は真言宗の正福寺と徳蔵寺の勢力争いが盛んであり、両寺院の僧兵たちが争っていました。劣勢であった正福寺勢が下野守護の宇都宮頼綱に援軍を求めたところ、頼綱は甥の笠間時朝（塩谷時朝）を派兵しました。時朝は 1205 年、徳蔵寺の僧兵と戦うための拠点として佐白山山麓に麓城を築城し、徳蔵寺を討ちました。ところが麓城の規模があまりにも大きかったため、味方ははずの正福寺の僧兵までも時朝に敵対しました。時朝は結局正福寺と徳蔵寺を滅ぼした後、1219 年、堅固な城を佐白山頂上に築城しました。これが笠間城の起こりです。その後笠間氏は 18 代にわたって笠間を治めました。南北朝時代の 5 代笠間泰朝の時には、南朝に属して勤王の兵を挙げ、北朝の佐竹義春の攻撃を受けましたが、籠城戦の末これを撃退しています。1590 年秀吉の小田原征伐の際、18 代笠間綱家が宗家の宇都宮氏に逆らい、後北条氏に組したため、同戦役後宇都宮氏に攻められ滅亡しました。その後、一時宇都宮氏が支配した後、蒲生郷成が入城し、この郷成の手により織豊系城郭に改修されたと考えられています。1600 年、関ヶ原の戦い後には松井松平家が入り、その後小笠原氏が入りましたが改易、次いで戸田松平家が入り、そして永井氏が入りました。その後、外様大名の浅野氏が 2 代、井上氏が 2 代、本庄氏が 2 代、再び井上氏が 3 代入った後、牧野貞通入城以後、廃藩置県まで牧野氏 8 代が居城しました。



笠間稲荷神社

別称、胡桃下稲荷（くるみがしたいなり）、紋三郎稲荷。祭神は宇迦之御魂神（うかのみたまのかみ）です。五穀豊穡、商売繁盛の神として古くから篤く信仰され、関東はもとより日本各地から年間 350 万人の参拝客が訪れます。また、正月三が日の初詣には 80 万人以上の参拝者が訪れ、初詣参拝者数で茨城県 1 位を誇っています。社伝では、661 年に創建されたとしています。近世までの沿革は不詳です。『常陸国風土記』によると、7 世紀ごろにはすでに当地で宇迦之御魂神への信仰が行われたと記されています。江戸時代になると広く知られるようになり、歴代の笠間藩主が崇敬しました。三代藩主松平康長や忠臣蔵で有名な浅野なども、転封し笠間を離れても分霊を新たな領地で祀るなど、庶民のみならず歴代藩主からも信仰を受けてきました。



第 8 回「復活・歩く会」のしおり

稲田・笠間

開催日 平成 2 6 年 1 0 月 5 日（日）

1. 幹事

植木康雄（32 組） 飯村稔・島田孝夫（33 組） 小久保優・齋藤文子（35 組）
小瀬洋一（36 組） 高沢治・飛田拓郎（37 組） 海老澤弘道・木本徹（38 組）
飯村洋一・佐々木和義（※特別幹事 公式カメラマン）（39 組）

2. コース

徒歩部分の水平距離 約 15.17km

西念寺往復 3. 0km ・笠間駅→樽 3. 61km ・樽→佐白山→笠間稲荷 5. 73km ・笠間稲荷→笠間駅 1. 66km ・水戸駅→水戸一高 1. 17km

稲田駅 9 時 1 5 分集合
9 時 3 0 分出発

「おはようスタート」 開会式
がんばっていきましょう。



西念寺



稲田駅 1 0 時 5 8 分発
↓ 水戸線（SUICA 使用可）

親鸞聖人は約 20 年間この地に滞在、「教行信証」を著し、関東各地に布教を行いました。駅の横に「石の百年館」。石のチョコもあるかも。

笠間駅 1 1 時 0 2 分着
1 1 時 1 5 分出発

「こんにちはスタート」の皆さんと合流します。

かさま やきもの散歩道 やきもの通り →陶の小径 →ギャラリーロード

（窯元やショップが軒を並べていますが入場しません）

↓
工芸の丘（笠間芸術の森公園）

10/10～10/13 笠間浪漫（秋の大陶器市）開催
11/1～11/3 陶と暮らし～笠間焼フェア 開催



季節料理 樽 （0296-72-1358）
1 2 時 0 0 分着

昼食・休憩

↓ 1 3 時 0 0 分出発

佐白山麓公園・佐白山（笠間城）

ハイキングコース。心霊スポットがあるかも。



つつじ山公園

山頂からの眺望が素晴らしく、市内が一望できます。



佐白山正福寺（佐白観世音寺）

坂東 3 3 観音札所の第 2 3 番となっている寺です。



笠間稲荷神社

ご存知、日本三大稲荷の一つです。食物を司る神、宇迦之御魂神（うかのみたまのかみ）をまつる。

笠間駅 1 5 時 5 0 分着
1 6 時 0 6 分発

↓ 水戸線（SUICA 使用可）（友部駅で常磐線に乗り換えます）

水戸駅 1 6 時 3 5 分着
1 6 時 4 0 分出発



水戸一高 1 7 時 1 0 分着

銀杏坂 →三の丸小 →弘道館前 →大手橋 →水戸二中

ラストです。手に手を取ってゴールインしよう。
閉会式 おつかれさまでした。



打ち上げ（駅前・庄や）
1 8 時～

幹事：飯村稔、小瀬洋一





午前 (稲田)	午後 (笠間～水戸)
20141005日曜日 9:15AM 稲田駅 おはようスタート - 出発 西念寺へ - 西念寺まで歩く 1.37km 往路 - 西念寺 - 石の百年館まで歩く 1.44km 復路 - 石の百年館 笠間行き電車10:58まで見学、トイレ休憩 - 稲田駅発 10:58発 - JR水戸線 3.19km 笠間駅着11:02	- 樽屋食 休憩約1時間 樽 0296-72-1358 - 佐白山麓公園まで歩く 2.08km 13:00出発 公園手前で登り坂 - 佐白山麓公園 トイレ休憩(ここからつつじ山までトイレなし) - 旧佐白スライインまで登る 0.43km - 旧佐白スライインとの交差点 - 城址公園まで登る 0.24km - 城址公園 トイレなし - 佐志能神社まで登る 0.14km 立入禁止解除の場合のみ - 佐志能神社 20140510東日本大震災による石垣ぐずれのため立入禁止中 - 八幡台橋まで下る 0.15km 立入禁止解除の場合のみ - 八幡台橋 展望台(但し、樹木繁茂) - 千人溜り駐車場まで下る 0.55km - 千人溜り駐車場 僧兵集合路 - つつじ山山頂まで歩く 0.79km 下り後、登り - つつじ山展望台 トイレあり - 正福寺(旧佐白観音)まで下る 0.52km - 正福寺(旧佐白観音) - 大石邸跡まで歩く 0.30km - 稲荷駐車場 旧稲荷グラウンド、トイレあり - 大石邸跡 - 笠間稲荷神社まで歩く 0.51km 車に注意 - 笠間稲荷神社 - 笠間駅まで歩く 1.66km 直線道路 - 笠間駅発 16:06発友部行き - 水戸線で友部駅まで移動 6.9km 友部駅16:15着 - 友部駅 16:20発勝田行きに乗り換え - 常磐線で水戸駅まで移動 16.6km 水戸駅16:35着 - 水戸駅 16:40出発 - 銀杏坂、三の丸小、弘道館前、大手橋、茨大附小、水戸二 中、水戸三高経由で歩く 1.17km - 水戸一高 GOALです おつかれさま
(笠間) 20141005日曜日 11:15AM 笠間駅 こんにちはスタート - 出発 工芸の丘へ - 陶の小径、ギャラリーロード 2.46km - 笠間芸術の森公園正門 - 工芸の丘まで歩く 0.56km ゆるい登りです - 工芸の丘 茨城県陶芸美術館前 - 記念碑まで歩く 0.18km 高野公男・船村徹 - 記念碑 展望台 - 樽まで歩く 0.42km 12:00着予定	

注
佐白公園～佐白山城址公園、
つつじ山部分は上り坂あり。
運動靴の用意をお願いします。
佐白公園から正福寺下への
ショートカット道があります。

